

尻別川新聞

第18号

小樽開発建設部倶知安開発事務所
平成25年9月30日

尻別川の水生生物調査を行いました

8月21日(水)に蘭越小学校の3年生と蘭越高校の1年生が一緒になって川の中に入り、生物を捕まえたりしながら尻別川の水生生物調査や簡易水質調査を行いました。

川の水は8月18日に降った雨の影響もあり、残念ながら少し濁っていましたが、たくさんの生物を捕まえることができました。



川の生物を捕まえて観察



↑ 川に網を入れて魚を狙う児童



↑ 何が捕れたか網を確認する児童

川の簡易水質調査を体験



↑ 薬で変化した色を見本と見比べて水質を確認する高校生 ↑

水生生物調査ってなあに？

水生生物調査は、川に棲んでいる生き物を調べることで、水のごれの程度を判定することができます。
誰でも簡単に調査を行う事はできますが、川には危険な場所もあるので詳しい人に指導をしてもらうなどの注意が必要です。



↑ 生物が付いた石を探す児童



↑ 調査結果を記録する児童

今回の調査では、川から拾った石に付いている生物から下の表にあるものを探して、確認し多かった生物を調べることで水質を判定しました。

調査結果は、『きれいな』水質に見られる「ヒラタカゲロウ」や「ヘビトンボ」といった生物が多く確認できました。

水質判定の指標となる生物一覧

きれいな水 (I) の指標生物		ややきれいな水 (II) の指標生物	
ナミウズムシ	サワガニ	カワニナ類	コオニヤンマ
ヒラタカゲロウ類	カワゲラ類	コガタシマトビケラ類	オオシマトビケラ
ヘビトンボ	ナガレトビケラ類	ヒラタドロムシ類	ゲンジボタル
ヤマトビケラ類	ブユ類	ヤマトシジミ	イシマキガイ
アミカ類	ヨコエビ類		
きたない水 (III) の指標生物		とてもきたない水 (IV) の指標生物	
タニシ類	シマイシビル	サカマキガイ	エラミミズ
ミズムシ	ミズカマキリ	アメリカザリガニ	ユスリカ類
ニホンドロソコエビ	イソコブムシ類	チョウバエ類	

～ 水生生物～

川の中には、ヤマメ・ウグイなどの魚類、カゲロウ・トンボ・ビケラなどの水生昆虫類、サワガニの仲間、カワニナなどの貝類、ヒルやミミズの仲間などのさまざまな生きものが生息し、これらをまとめて水生生物と呼んでいます。

平成24年度の水質調査の結果

尻別川が『水質がもっとも良好な河川』となりました

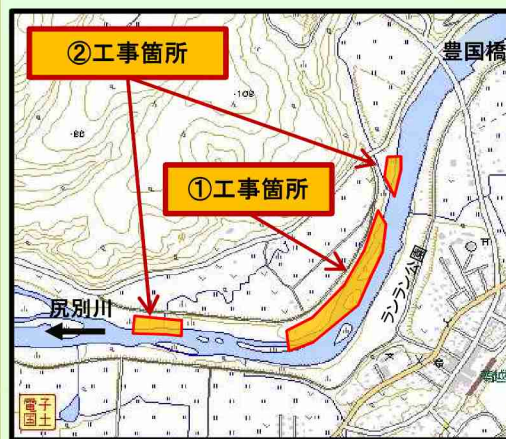
平成24年に全国の163の一級河川で実施した水質調査の結果、水質がもっとも良好な河川となったのは全国で9河川あり、北海道では尻別川と後志利別川が選ばれました。尻別川は、平成21年から4年連続(通算12回目)で選ばれています。

この調査結果は、『BOD』という数値で判定したものです。

～ BOD (Biochemical Oxygen Demand)～

生物化学的酸素要求量ともいい、水の汚染を表す指標の1つです。河川や工場排水の中の汚染物質(有機物)が微生物によって無機化あるいはガス化されるときに必要とされる酸素量をいいます。この数値が大きくなれば、水が汚れていることを表します。

尻別川の川幅を広げる工事を行っています



①工事名
尻別川改修工事の内
豊国地区河道掘削外工事
平成25年3月～平成26年2月)
受注者: 佐々木 伊藤組土建
経常建設共同企業体

②工事名
尻別川改修工事の内
豊国橋下流河道整備工事
平成25年7月～平成26年3月)
受注者: (株)佐々木組

尻別川新聞では河川での取り組みや工事、イベント、地域の情報など様々な話題を取り上げていきます。

ご不明な点やご意見、尻別川に関する話題がありましたら倶知安開発事務所蘭越分庁舎までご連絡ください。

小樽開発建設部倶知安開発事務所蘭越分庁舎
(旧蘭越河川事業所)
0136-57-5331